

# 「さらしな」スーパーブランド地名への歴史

日本の美意識の核心は清らかさ、その清らかさを表現してきたのが白。白にこめられた清らかさを最も取り込んでいる地名がさらしな。さらしなには清らかさそのものの景観があり、月の都の称号も。名実ともに清く白く、だからさらしなはスーパーブランド地名 日本的美の核心があるさらしな

令和	平成	明治	江戸	戦国	南北朝	鎌倉	平安	奈良					飛鳥								
新五号の出典元 万葉集			芭蕉	秀吉	宗良親王	後鳥羽上皇 九条良経 さらしな再発見	桓武 )		孝謙 称徳 (聖武の娘)	聖武	元正 (元明の娘)	元明 (文武の母)	文武	持統(女帝) うののさらしな (鬪野讃良)	天武	天智	舒明(万葉一番歌    国見歌)	推古(初女帝)	雄略(大長谷命 万葉一番歌)	卑弥呼	天皇
2019 ~	1988 ~		1688		1336 ~ 92	1192 ~	794 ~ 1192	700-800年代	749 ~				690-697	673 - 686	662			5c	3c		
	千曲市誕生 2003 更級郡消滅 2005 仏オペラ上演 2008 さらしなルネサンス 2014	更級村誕生 1889	虎屋の更科・新更科 追分の分去れ碑 さらしなそば 京都御所「更科里」	史料紀行の旅 更科の更科・新更科 追分の分去れ碑 さらしなそば	南朝 吉野山を拠点	源平の争乱後	平安京	坂上田村麿・征夷 大将軍			平城京 710		野離宮 飛鳥浄御原宮 信濃複都計画	壬申の乱 672	乙巳の変 645 白村江の敗戦 663	善光寺創建 642	仏教伝来 552	白彦皇子と黒彦皇 子殺害		出来事	
動く絵本「さらしな」 ユーチューブ公開 さらしな学連続講座	さらしなの里友の会 更級人「風月の会」 「さらしな歩き」 川西振興連絡協議会 「地名遺産さらしな」 「美しささらしな」 絵本「さらしなちゃん」		姨捨の新田開発 余白の美意識			東大寺再建 新古今和歌集	竹取物語 古今和歌集 (905、紀 貫之ら編纂) 大和物語 (10世紀半ば) 更級日記 (11世紀半ば) 雪月花の美意識	東北経営軍事にかかわった 大伴氏 紀氏 ともに没落 貴族 冠着山肩部を通過していた 東山道支道(蝦夷対策の重 要連絡路)	続日本記 797	日本書記 720	古事記 712	大宝律律令 701	伊勢の式年遷宮 万葉集 (大伴家持編纂) 天照大神・月・太陽 律令制度 (藤原不比等) 万葉集の編纂始まる?	国号・倭 ↓ 日本 国史編纂の詔勅 東国経営本格化 (東山道、 馬・軍事拠点の信濃) 道教 (神仙思想) 修験道	大化の改新 (藤原鎌足) 科野国に更級郡誕生?		スメラミコト (天皇    神 の清らかな言葉を聞く者)		実績		
	住民アンケートで千曲市    19346票、更科市    17580票 LADY SARASHINA 『科野さらしなの里千曲』(千曲市観光振興計画)	月のみか露霜しぐれ雪までさらしなさらしなさらしなの里 (佐良志 奈神社)	倂や姨ひとりなく月の友 「鏡台山」の発見 (姨捨十三景) さらしな右み吉野は左にて月と花とを追分の宿 姨捨の山ぞしぐれる風みえてよそさらしなの里のたかむら	さらしなや雄島の月もよそならんだ伏見江の秋のゆうぐれ 曇るとも照るとも同じ秋の夜の其の名は四方にさらしなの月 (伊達政忠) さらしなや雄島の月もよそならんだ伏見江の秋のゆうぐれ 曇るとも照るとも同じ秋の夜の其の名は四方にさらしなの月 (伊達政忠)	さらしなの月みてだにも我はただ都の秋の空ぞ恋しき この里に旅寝しつべしさらしなや月を都の同じ空とて	さらしなの山の高嶺に月さえてふもとの雪は千里にぞしく 雪白きよもの山辺をけさ見れば 春のみ吉野秋のさらしな み吉野は山も霞みて白雪のふりにし里に春は来にけり (新古今 巻頭) さらしなは心の中の里なれば月見ること身を宿すかな (藤原信実) 「雄島」の発見	わがころ慰めかねつさらしなや姨捨山にてる月をみて (よみ人知らず) (信濃に行く人に) 月影はあかす見るともさらしなの山のふもとに長いすな君 (紀貫之) (信濃寺に赴任した大 病死して) 月も井でで闇にくれたる姨捨になにとて今宵訪ねきつらむ (更級日記)	朝廷の東国経営によりさらしなの情報の集積 ↓ 「さらしな」の発見 「信濃の国さらしなの里の姨捨山」の誕生 あやししくも慰めがたき心かな姨捨山の月も見なく (880ころ、小野小町)	もしわが寺興復せば天下興復し、わが寺衰弊せば天下衰弊す ひさかたの天光る月の隠りなは何になぞへて妹を偲はむ (2463) ひさかたの天照る月は見つれども吾が思ふ妹にあはぬころかも (3650) 多摩川にさらす手つくりさらさらさらなるのこの児のことたかなしき 信濃なるちくまの川のさざれしもきみ踏みては玉とひろわむ 新しき年のはじめの初春の今日ふる雪のいやしげ吉事 (4516) さらしなは再生イメージ音楽祭 (三浦茂久 古代日本の月信仰と再生思想) 建部大垣、親孝行で税金免除 (768年)	里中満智子「天上の虹」主人公 春過ぎて夏来たるらし白たへの衣ほしたり天の香具山 (万葉集、小 倉百人一首) 飛鳥浄御原令    明、正、直の位階名 屋代国府木簡に「更科郡司」	中央集権・文化国家の礎 よき人のよしとよく見てよしと言ひし吉野よく見よよき人よく見つ (万葉 集 27) 吉野山    天皇親政の聖地・原点	大阪・難波に捨てられていた百済仏を本田義光が信濃に運搬 旧更級郡の長谷寺、寺伝によると637年開山、開祖は白助 「信濃国」の表記誕生? 更級と埴科はきょうだいの地名、科野が親地名	さらしなの里の白助と黒彦	信濃国の起源の科野氏 (百済系渡来人?) 森將軍塚古墳 (4世紀後半) さらしなの里の白助と黒彦	特記事項						